大河津分水めぐり

1. イベント概要

期日:平成29年11月26日(日)14:00~17:30

会場:信濃川大河津資料館及び周辺施設

内容:信濃川大河津資料館、堰の操作室、ライトアップされた洗堰などを見学されました。

主催者:夢ちいき県央塾 参加者数:39人





大河津分水路模型で周辺施設や改修工事の概要を解説したのち、可動堰などの堰の操作室を特別に見学しました。

2. イベント状況

新潟日報社、燕市、新潟経営大学等の協力により実施された「大河津分水めぐり」。信濃川大河津資料館にて、大河津分水の歴史や役割が説明されたほか、普段は入ることのできない堰の操作室や、この日特別にライトアップされた洗堰も見学しました。メモを取る姿や写真を撮る方が多く見受けられました。



明治29年に起きた横田切れについての資料に 見入る皆さん。その圧倒的な被害に驚きの声 が挙がるとともにため息がもれる程でした。



「大河津分水竣工式」が掲載された大正13年 の新聞を特別に公開してもらい、当時の人々 の大河津分水のへ思いを再確認しました。



「大河津分水がなかったら新潟になかったものは?」。大学生による3択クイズも出題されました。



参加者の皆さんが洗堰に到着するとライトが 点灯。雨模様でしたが、その分、幻想的な洗 堰の姿を見ることができました。



参加者の声

西区から夫婦で参加しました。他の地域のまちあるきで横田切れのことを耳にしたことはありましたが、今日の解説でより理解できました。先人の懸命さが伝わってきますね。私は、川沿いを歩くことが好きなので、西川の源流がここにあったことに感激しました。また機会があったら、川沿いを歩きに来たいです。